



藤代紫水高等学校 躍動するハンドボール部の選手たち！

9月3日から14日にかけて、中東ヨルダンで開催された「第10回男子ユースハンドボールアジア選手権」で、男子日本代表アンダー19（ユース）が初優勝を果たしました。藤代紫水高等学校からは、(写真上:左から)藤井悠輔さん、大橋真人さん、太田晴斗さんの3人が日本代表に選ばれました。12日に行われた準決勝では、リーグ戦グループ1位のサウジアラビア代表との試合となりましたが、30対27のスコアで勝利。決勝戦では、韓国代表との試合で接戦となるも、26対24のスコアで勝利を収め、見事優勝を飾ることができました。大橋さんは、大会MVPにも選出されました。

また、10月10日から13日に行われた「SAGA2024国民スポーツ大会ハンドボール競技」の少年男子の部では、茨城県代表(藤代紫水高等学校)は、準決勝で惜しくも敗退したものの、3位決定戦で京都府代表(京都府立洛北高等学校)に勝利し、第3位に輝きました。

ハンドボールとは

1チーム7人(うちゴールキーパー1人)編成で、手を使ってボールを投げ・受けて、相手チームのゴールへシュートして得点を競う、チームスポーツの楽しさと特有のダイナミズムが見事に調和した魅力的なスポーツです。
シュートを放つ瞬間のダイナミックなジャンプ力やスリリングなロングシュート、迅速な試合の展開など、見どころは盛りだくさんです。



▲「第10回男子ユースハンドボールアジア選手権」の様子



▲「SAGA2024国民スポーツ大会ハンドボール競技」の様子



スポーツの才能が爆発！ 藤代高等学校二つの栄光！



藤代高等学校2年生
根津広太さん

「茨城県高等学校弓道新人大会兼全国高等学校弓道選抜大会茨城県予選会」の個人の部で第2位
▼コメント
これからも練習を積み重ね、「全国高等学校弓道選抜大会」で優勝を目指して頑張ります。



藤代高等学校1年生
高橋宏輔さん

「第78回国民スポーツ大会ボウリング競技」の少年男子団体戦で第6位入賞
▼コメント
日本代表として、国内タイトル獲得のみならず、世界でも活躍できる選手になれるように頑張っていきます。



「夢がかなった」喜び、感謝と「恩返し」 甲子園出場選手が準優勝を報告

10月25日、「第106回全国高等学校野球選手権大会」で準優勝に輝いた、関東第一高等学校野球部の中里駿介選手(写真左)と成井聡選手(写真右)が市長に準優勝を報告しました。両選手は、中学生硬式野球チーム「取手リトルシニア」出身。中学生時代は取手市のグラウンドで練習に励みました。中里選手は「甲子園に行く夢がかなってうれしい。自分の役割を考えチームのために動くことが大切」と試合を振り返り、成井選手は「自分1人の力ではこの結果は出せなかった。応援してくれた方に恩返しができる」と感謝を伝えました。



誰もが楽しめるゆるスポーツ 「くつしたまいれ」に挑戦！

11月9日、TAC取手グリーンスポーツセンターで、年齢・性別・運動神経にかかわらず誰もが体を動かして楽しめる「ゆるスポーツ体験会」が開催されました。当日は5種目を体験でき、ばらばらにちらばったカラフルな靴下の中から同じ柄同士を一つに畳んで、それをカゴに入れた数を競う「くつしたまいれ」には、長蛇の列ができていました。参加した方は、「たくさんある靴下の中からペアを探すのが楽しかったです！」と笑顔で話しました。



広報とりで

発行/取手市 編集/魅力とりで発信課 〒302-8585取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 内線1193 FAX 0297-73-5995

ホームページ: <https://www.city.toride.ibaraki.jp/>
e-mail: miryoku@city.toride.ibaraki.jp



広報とりでは、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。